

アジサイ「きらきら星」の高品質安定生産技術の確立 ～挿し木と摘心の時期について～

要約

摘心は8月下旬の4節生育時に2節残しで行うことで良品生産が可能である。そのための挿し木の適期は90日前の5月下旬～6月上旬である。

○ 展示のねらい

アジサイ「きらきら星」は花芽分化しやすい性質があり、年内につぼみができてしまいロスが出てしまうという課題がある。その対策として、摘心時期を遅らせることで回避できることが明らかになったことから、良品生産に適した挿し木時期と摘心時期を決定する。

○ 主な成果

表 摘心時の節数と総分枝数、定植時の露出花数

区No.	挿し木	摘心	摘心時の節数	総分枝数	定植時の露出花数	有効分枝数
1	5月24日	8月20日	4.5	4.7	1.5	3.2
2	6月3日	8月20日	3.5	4.1	0.5	3.6
3	6月13日	8月20日	2.7	3.8	0.5	3.2
4	5月24日	8月29日	5.0	4.3	2.1	2.2
5	6月3日	8月29日	4.3	4.6	0.0	4.6
6	6月13日	8月29日	3.2	3.3	0.9	2.4

※ 総分枝数、露出花数、有効分枝数は1ポット当たり（3.5号ポットに2本植え）

総分枝数は、3、6区では摘心時に節数少なく枝によっては摘心（2節残し）できず総分枝数が少なくなった。定植時に花が露出していた露出花数は、摘心時の節数が少ない方が露出花の割合が少なくなり、5.0節あった4区が最も露出花数が多くなった。

出荷時の荷姿は分枝数も多く、定植時の花芽の露出が見られなかった5区が開花や花の高さも揃い最も優れた。



写真 5区の出荷時の荷姿
（3.5号ポット2つ植え）

○ 今後の方向性

摘心後の生育環境で花芽の進み方も変わってくるので、各生産者で微調整する必要がある。また、有効分枝数の確保の課題が残ったので新たな対策を検討する。

実施機関：上都賀農業振興事務所経営普及部 実施場所：鹿沼市
問合せ先：栃木県農政部経営技術課技術指導班 TEL 028-623-2322 FAX 028-623-2315